

授業科目	国際関係入門				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21307J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1			
担当教員	福田 猛仁							
授業概要	<p>毎回、下記の各テーマに関して1時間程度の講義を行います。その後、質問カードを用いて受講者から授業内容に関して質問を募り、質問への応答やディスカッションを20分ほど実施します。</p> <p>本講義の目標は、国際関係論の基本的な知識を身に付けたうえで、国際レベルで生じる様々な現象を「自分なりの視点」から眺め、「自分ことば」で論じられるようになることです。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>①国際関係論の基本的な知識を身に付ける。</p> <p>②国際政治に関する報道を理解できる。</p> <p>③世界情勢を眺め、論じる際に依拠する「自分なりの視座」を獲得することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	0	40	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30			10			40	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10			20			30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10			10	10		30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
国際関係論に関する基礎的な知識を駆使して、国際的な現象を「自分なりの視座」から分析し、「自分のことば」で論じることができる。				国際関係論の基本的な理論、概念、知識を身に付け、国際政治に関する報道を理解することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 講義目的、進め方、評価方法などを詳しく説明します。			講義		復習: 該当範囲の復習		30

2	国際関係論とは何だろうか①: 基本的概念の説明 国際関係論で扱う基本概念である「国家」「権力」「平和」などについて解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
3	国際関係論とは何だろうか②: 代表的理論の説明 代表的な国際関係理論である「現実主義」について解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
4	国際関係論とは何だろうか③: 代表的理論の説明 代表的な国際関係理論である「理想主義」と「急進主義」について解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
5	力の体系①: 戦争 戦争の主体・目的・手段の変化が、国際関係にいかなる変化をもたらしてきたのかを解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
6	力の体系②: 力の均衡 戦争抑止のメカニズムとしての「力の均衡」の有効性と限界について解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
7	力の体系③: 同盟 戦争抑止のメカニズムとしての「同盟」の有効性と限界について解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
8	利益の体系①: グローバリゼーション グローバリゼーションとはどのような現象であり、国際関係にいかなる影響を及ぼしてきたのかを解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
9	利益の体系②: 貧困と不平等 世界の貧困と不平等の状況を紹介し、その解消に向けての道筋を模索します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
10	利益の体系③: 環境問題 世界の環境破壊の状況を紹介し、その解決に向けての道筋を模索します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
11	価値の体系①: ナショナリズム ナショナリズムとはどのような現象であり、国際関係にいかなる影響を及ぼしてきたのかを解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
12	価値の体系②: 民主主義と人権 民主主義と人権をめぐる価値観の相違が国際関係に及ぼす影響について解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30分
13	価値の体系③: 文明と宗教 文明と宗教の相違が国際関係に及ぼす影響について解説します。	講義	復習: 該当範囲の復習	30
14	講義の総まとめ 本講義の試験	講義、テスト	復習: 該当範囲の復習	30
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	新聞の国際面・政治面・社会面・経済面を読むこと。			
テキスト	特に指定しない。講義の理解を深める題材として、授業中にニュース画像などをみてもうことがあります。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	進藤栄一『現代国際関係学』有斐閣 新聞 そのほか、授業中に紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	今まで政治学や国際関係論を学んだ経験がなくても、国際関係に興味を持つ人であれば本講義の受講を歓迎します。			
達成度評価に関するコメント	試験内容に関しては、授業中に指示します。			

